

議員全員協議会の概要

市長要請による議員全員協議会が5月15日、6月12日、16日に行われ、「施設類型別実施計画の策定状況について」ほか9件の説明があり、質疑応答が行われました。

施設類型別実施計画の策定状況について

駅前東館跡地活用 事業について

【概要】財政負担軽減を図るため、既存公共施設の床面積を30年間で35%削減するという適正配置実施計画の素案が示された。

【問】早急に実施したらどうか、住民の声で変更ができるのか、まちづくりの観点・処分経費の見とおしはあるのか問う。

【答】素案について、市民への説明会の開催とともに、必要な場合は利用団体等へ説明し、意見をふまえ今年度中には計画内容を確定したい。

不燃物処理工場の有価物に関する調査報告について

解体には費用がかかる、状況に応じて対応する。まちづくりの観点から、条件を付して売却することも検討する。

【概要】アルミ缶プレス

品の出荷前後の計量値の誤差について、5月末までに原因究明を図り、6月議会で報告することとしていた。

【問】①アルミ缶の計量誤差の調査結果は。②第三者機関への調査依頼は。

【答】①内部調査したが、主たる原因は明らかになっていない。②現在、警察に相談している。

【問】図書館の指定管理者について、選定はいつ、どの様な方法で行うのか。

【答】指定管理者は、本年12月頃に優先交渉権者を決定し、明年1月頃から募集を行い、3月頃の決

定をめざす。今後、募集の方法について検討する。

三原市男女共同参画プラン(第3次)の策定について

【問】第3次プラン策定に向けた審議会で、小学校の男女別名簿について協議があつたか。

【答】審議会での協議はなかつた。施策を進めていく中で、学校現場での男女共同参画推進に向け可能なことを協議していく。

【問】①チエック体制は。②今後の対応は。

【答】①運営体制に不備、チェック体制に甘さがあった。②課題解消にあたり、運営の適正化を図る。

【問】三原市空家等対策計画の策定について

【概要】市を中心部がめざす、まちの方向性として、景観の考え方などの協議があつたか。

【問】今年度実施する、市

【答】ハーフ面の取り組みとして、まちの将来像の「見える化」に向けて、グランドデザインを完成させ、方向性を示す。ソ

リューチェック体制に甘さがあった。②課題解消にあたり、運営の適正化を図る。

【問】人口減少と高齢化の進行の中、一層増加すると見込まれる空き家等の発生を抑制するためにどう取り組みがあるか。

【答】対策の基本的な施策は。耐震改修工事により、耐震安全性の課題は解消される。現在、公用で使用している部分は、市の所有床に加え、民間の所有床を借りている状況。今後は、公共施設の再編に活用し、周辺公共施設の老朽化や利用状況、集客や多世代の利用等にぎわい創出などの視点から、平成31年の新庁舎建設に伴う事務所移転(保健福祉課事務室、城町庁舎)に向けて、再配置の検討を進める。

抑制、②適正管理、③活用、④除去等の4点の施策を計画に掲げ、市民からの相談には弁護士・司法書士等へ相談し措置を検討する。

市中心部のグランبدesign検討事業について

【問】現状と今後の予定は。

ペアシティ三原西館活用の方向性について

【概要】西館は利便性の高いJR三原駅前に立地しており、中心市街地に立地する公共施設の再編に活用する。

■その他の項目

- 市営住宅への指定管理者制度導入について
- 水道事業経営戦略の策定状況について
- 財政推計について